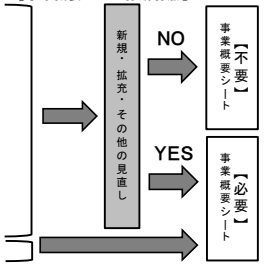
事務事業評価表

施策名	1502	若者や高齢者の就業支援

【事業類型】

1　職員人件費のみの事業
2　国の法令に基づいて実施する事務（生活保護、賦課徴収事務、年金事務、戸籍・住基台帳事務、選挙事務、広域組合の負担金などの市の裁量が及ばない事務）
3　負担金のみの事業（イベント等の実行委員会への負担金を除く）
4　組織や職員を管理するための内部事務管理事務（財務事務、人事管理事務、企画事務、議会事務など）
5　施設の維持管理費のみの事業（光熱水費や法定の保守点検委託料など。施設の修繕料）
6　施設を維持管理するための運営業務（施設やそれに付随する車両等の運転業務委託、公園などの管理業務、清掃委託）
7　課内事務を行う上で必要となる事務的経費のみで構成される事業（条例委員の報酬、旅費、需要費、役務費のみで構成）
8　団体等への負担金及び補助金が予算の大半を占めるもの・・・補助金は、補助金要綱及び補助金等のあり方に関するガイドラインにおいて精査されている。
9　ハード事業で、中長期の年度計画（事業費含む）を策定し認められた事業
10　ハード事業1,000万円未満、ソフト事業100万未満（事業類型1～9以外）
11　ハード事業1,000万円以上、ソフト事業100万円以上（事業類型1～9以外）

【事業概要シート作成有無】



【事務事業評価の視点】

妥当性（市の関与）
　a…市が実施することが妥当である
　b…見直す余地がある
　c…市が実施する緊急性が認められない
有効性（施策貢献度）
　a…施策への貢献度が高い
　b…施策への貢献度が著しく高いとはいえない
　c…成果の向上が見込まれない
効率性（コスト）
　a…コストを見直す余地がない
　b…検討する余地がある

＜総合評価＞
　A…計画通りに事業を進めることが適当
　B…事業の進め方の改善検討
　C…事業規模・内容又は実施主体の見直しの検討
　D…事業の抜本的見直し、休・廃止の検討

事業費は当初・繰越・補正予算の合計額

NO	事業名	担当課 課長 担当者	事業内容	事業期間 開始	 終了	根拠法令 要綱等	事業類型	妥当性	有効性	効率性	総合評価	事業費（千円） R４ 決算	 R５ 予算	 R６ 見込	人件費（千円） R４ 決算	 R５ 予算	主な指標	単位	R４ 計画	 実績	R５ 計画	R６ 計画	事業の方向性	概要シート
1	シルバー人材センター事業	商工振興課 松尾　直紀 江頭　壱成	高齢化社会が進展する中、高齢者の労働力活用を図るため、シルバー人材センター事業の活性化により、高齢者の就業機会の拡大を図る。	昭和63年度		大村市シルバー人材センター事業費補助金交付要綱	8	a 妥当	a 貢献度高	a 余地なし	A 事業推進	15,613	15,609	15,624	224	1,164	就業実人員 （派遣事業含む）	人	771	708	794	817	現状維持	無
2	勤労者センター運営管理事業	商工振興課 松尾　直紀 江頭　壱成	勤労者の文化の向上とその福利厚生を図るために勤労者センターを設置する。 また、指定管理者制度による、サービスの向上及び運営の効率化並びに利用しやすい施設運営を図る。	昭和40年度		大村市勤労者センター条例	6			a 余地なし	A 事業推進	4,057	2,301	2,301	295	1,164	使用件数	件	500	619	500	500	現状維持	無
3	企業就職支援事業	商工振興課 松尾　直紀 江頭　壱成	市民等へ市内企業の魅力についてPRを図るとともに、本市出身学生や就労希望者の市内就職を促進するため、既存の関連媒体を統合し、市内中小企業の情報を効率的に取得できるようSNSと連携したウェブサイトを構築する。また、企業側及び利用者側が相互に情報を受発信できるシステムを構築する。	令和3年度			11	a 妥当	a 貢献度高	a 余地なし	A 事業推進	2,525	2,525	3,000	382	1,244	サイトへの新規登録企業数	社	40	8	40	45	現状維持	有
4												0	0	0	0	0								
5												0	0	0	0	0								
6												0	0	0	0	0								
7												0	0	0	0	0								
8												0	0	0	0	0								